



日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

第42回日本美容皮膚科学会総会・学術大会

ランチョンセミナー 13

2024年9月1日(日) 12:05～13:05

第4会場 (名古屋国際会議場 会議室141+142)

座長

杉野 宏子 先生

青山エルクリニック

演者

岩城 佳津美 先生

いわきクリニックIC



ペプチド複合体含有ヒアルロン酸製剤を用いた注入治療の新しい可能性

CG Styler 600は、PEGDE(ポリエチレングリコールジグリシジルエーテル)で架橋されたヒアルロン酸(10mg/ml)にペプチド複合体を含有したハイブリッド製剤である。低濃度ながら粘弾性に優れたヒアルロン酸(high molecular weight of HA 2.5Mda)は、組織への馴染みが良く、どのような表情においても不自然な形状を呈することなく、かつ適度なボリュームを回復することができる。また、吸水性が低いため、浅層への注入においてもチンダル現象や浮腫が起りにくい。含有されているペプチド複合体CG-PTxは、ボツリヌス毒素様効果を有し皮膚のリラックス効果が得られるが、ボツリヌス毒素のような強力な作用ではないため、どこに注入しても不自然な表情になるリスクはない。また、注入後数週～数ヶ月で皮膚のコラーゲン・エラスチンが増生し、さらなるシワ・肌の質感改善効果が得られる。もう一つのペプチド複合体オクタペプチド-11は、ヒアルロン酸の分解遅延作用を有し、ヒアルロン酸の効果をより延長することが期待できる。演者はCG Styler 600を3年前から使用開始し、すでに600本以上の使用経験があるが、従来のヒアルロン酸製剤とは注入概念や注入テクニックが異なる製剤である。細部のシワから、フルフェイスの若返り治療、表情ジワの治療まで非常に幅広い適応があり、今では注入治療において欠かせない製剤となっている。また、従来ヒアルロン酸は禁忌である目元(tear trough)にも、注入法を工夫することによって使用することができる可能性があることが分かってきた。今回、CG Styler 600を使用した症例と注入テクニックを、動画で提示しながら解説する。

- 本セミナーは医師向けの内容となっております -

共催：第42回日本美容皮膚科学会総会・学術大会 / クレシオ株式会社

※ CG Styler 600は、薬事未承認のため販売授与できません